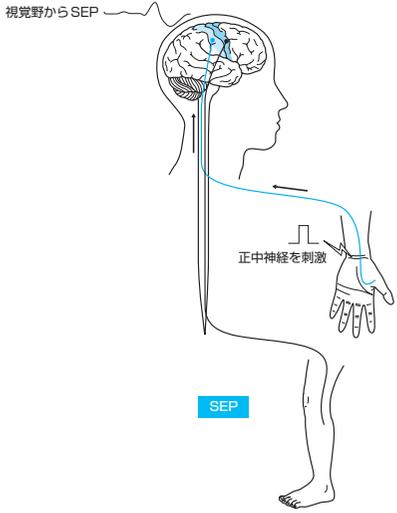
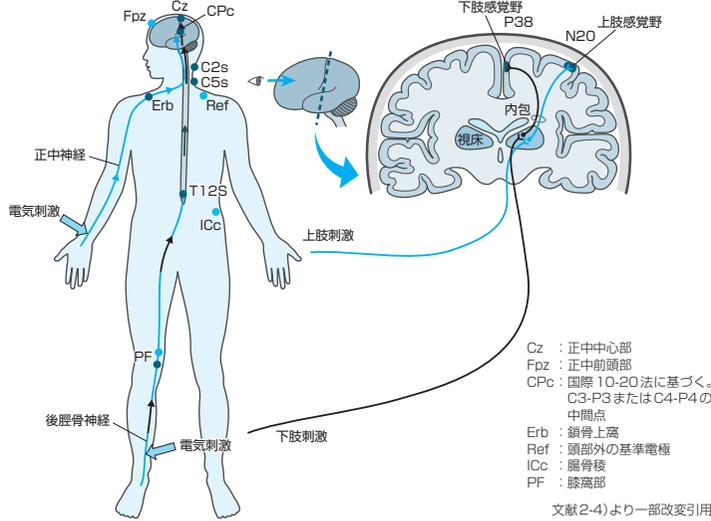
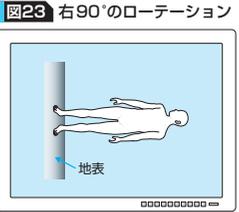


# 『手術領域医療機器の操作・管理術』正誤表

『手術領域医療機器の操作・管理術』(2015年3月10日 第1版第1刷)に誤りがありました。

ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2017年6月12日 メジカルビュー社編集部)

| ページ   | 該当箇所                               | 誤   | 正  |
|-------|------------------------------------|---|--|
| p.42  | 上から12行目                            | 処理することで、 <b>潜時</b> は増大する。また、ノイズや・・・   | 処理することで、 <b>振幅</b> は増大する。また、ノイズや・・・  |
| p.50  | 図15                                |    |  <p>           Cz : 正中中心部<br/>           Fpz : 正中前頭部<br/>           CPC : 国際 10-20 法に基づく。C3-P3 または C4-P4 の中間点<br/>           Erb : 鎖骨上窩<br/>           Ref : 頭部外の基準電極<br/>           ICc : 膈骨稜<br/>           PF : 膝窩部<br/>           文献 2-4) より一部改変引用         </p> |
| p.50  | 図16 解説文<br>下から1, 2行目               | N <sub>20</sub> : 第一次体性感覚皮質<br>P <sub>25</sub> : ?                                  | N <sub>20</sub> : 第一次体性感覚皮質 (3b)<br>P <sub>25</sub> : 大脳皮質感覚野  |
| p.58  | ◎引用・参考文献                           | (追加)  | 4) Vauzelle C, et al: Clin Orthop Relat Res, 93 : 173-178, 1973.   |
| p.65  | 表1<br>気体 CO <sub>2</sub> レーザーの波長帯域 | 可視  | 赤外   |
| p.107 | 下から7行目                             | ・・・観察野は縮小するが焦点深度は <b>浅</b> くなる。   | ・・・観察野は縮小するが焦点深度は <b>深</b> くなる。  |
| p.109 | POINT! 上から2行目                      | に装着すること(図10)。   | に装着すること(図9c)。  |
| p.155 | 下から18行目                            | VATS <sup>*11</sup> は胸腔内操作のため気腹装置は使用しない。  | 側臥位で行うVATS <sup>*11</sup> は胸腔内操作のため <b>一般的に</b> 気腹装置は使用しない。  |
| p.156 | 図23                                |  |   |
| p.201 | 表1<br>Arレーザー エイミング(ガイド光の明るさ)       | 0   | 4~6  |
| p.269 | 表1<br>セミクリティカル 物品                  | 喉頭鏡など   | (削除)   |